諏訪小学校だより No.13　　R5.11.6

学校教育目標　≪本物の【あかぎの心】を育てよう≫

モッテコイ 諏訪小魂！

長崎市立諏訪小学校 校長 山﨑 直人

熱演、感動！「諏訪っ子くんちフェスティバル」

11月2日。真っ青な秋空の下、「第27回 諏訪っ子くんちフェスティバル」を開催しました。子供たちはこの日を心待ちにしていました。「最高の1年間にしよう～全力・協力・最後まで～」のスローガンどおり、一人一人が全力で、仲間を信じて協力し、最後の最後まで力を尽くしました。最高の1年間の中の最高の1日を実感したところです。

1年生の傘鉾からスタートです。ちゃんと摺り足で入場、真剣に所作を守りながらも愛らしい演技でした。

2年生の神輿と掛け声は大迫力。一気にお祭りムードに高めてくれました。「長崎萬歳」の踊りも郷土愛にあふれていました。

そして6つの町の演じ物です。

川船の網打ちと軽快な船回し。最初からモッテコイの嵐でした。

鯱太鼓の声と動きが一体となった美しさ。何度も何度も呼び戻されて、鯱が天空を舞いました。

南蛮船のポルトガル語での歌は一気に西洋の世界へ連れて行ってくれます。踊馬場を一杯に使った大海原を渡る演出も見事なものでした。

七福神の優雅な踊りとメッセージ付きの小判は嬉しい福の贈り物でした。寶船の静と動の所作も素晴らしかったです。

龍踊は大人顔負けの熱演。子龍も立派です。二体の龍の掛け合いは圧巻でした。

そして鯨の潮吹き。本家本元の熱演は感動を呼びます。何度もかかるモッテコイに応えているうちに、気付いたら全員総立ちで「ヨッシリヨイサ！」を響かせていました。学校を震わすほどの大声援に応え、何度も何度も鯨は大海を泳ぎ舞いました。

各踊町のご指導の賜物です。短い稽古期間でしたが、子供たちの心に火を灯してくださいました。

「本物は、感動を呼ぶ」。子供たちの全力は、まさに本物でした!!

ご参観、ご声援、誠にありがとうございました。